

中期目標の達成状況に関する評価結果

申立ての内容	申立てへの対応
<p>【評価項目】 II 研究に関する目標 3. 優れた点、改善を要する点、特色ある点 (優れた点) (5行目から)</p> <p>【原文】 <u>「・・・の推進を支援し、21世紀COEプログラム等に採択されたことは、・・・」</u></p> <p>【申立内容】 【修正文案】 のとおり変更願いたい。</p> <p>【修正文案】 <u>「・・・の推進を支援し、平成19年度大学教育改革支援プログラムに申請した3件全てが採択されたことは、・・・」</u></p> <p>【理由】 21世紀COEプログラムには、採択されていないため。(中期目標の達成状況報告書31頁参照)</p>	<p>【対応】 意見のとおりとする。</p>

学部・研究科等の教育に関する現況分析結果

学部・研究科等番号・名称：01・医学部

申立ての内容	申立てへの対応
<p>【評価項目】 1 教育水準 2 教育内容 【判断理由】 (5行目から)</p> <p>【原文】 「・・・医学科では、教育・研究環境における施設・設備面に満足していない答えが44%と多く、看護学科では、専門技術の修得に60%以上が満足していないものの、全般的には・・・」</p> <p>【申立内容】 【修正文案】 のとおり変更願いたい。</p> <p>【修正文案】 「・・・医学科では、教育・研究環境における施設・設備面に不満とする答えが約9% (やや不満8.0%、非常に不満1.3%) であり、看護学科では、専門技術の修得に約16%が不満 (やや不満14.5%、非常に不満1.4%) としているが、全般的には・・・」</p> <p>【理由】 原文の「満足していない答えが44%」及び「60%以上が満足していない」の係数には、「どちらとも言えない」とする回答が、それぞれ34.7%及び44.9%含まれており、これらを含めて一様に「満足していない」とすることは適切ではないと判断する。 (別添資料4、5参照)</p>	<p>【対応】 意見のとおりとする。</p>

学部・研究科等の教育に関する現況分析結果

学部・研究科等番号・名称：01 医学部

申立ての内容	申立てへの対応
<p>【評価項目】 I 教育水準 3. 教育方法</p> <p>【判断理由】 (1行目から)</p> <p>【原文】 「授業形態の組合せと学習指導法の工夫」については、<u>各学科の講義と演習・実習とのバランスを見ると看護学科の方は、演習・実習の割合が少なく、専門技術の修得に60%以上が満足していないというアンケートの結果と関連していると推察される。</u>また、<u>各学科において、シラバスを意識した授業構成をしているなどの相応な取組を行っていることから、期待される水準にあると判断される。</u></p> <p>【申立内容】 下線部分を削除願いたい。</p> <p>【理由】 原文の「60%以上が満足していない」の係数には、「どちらとも言えない」とする回答44.9%が含まれており、これを一様に「満足していない」とすることは適切ではないと判断する。(別添資料5参照) また、演習・実習の割合が少ないとされ、それがアンケート結果と関連していると推察しているが、演習・実習の割合が少ないというのは、医学科と比較した場合であり、看護学科における講義とのバランスについては問題なく、下線部分を削除しても当該判断理由に影響を与えるものではないと判断する。(別添資料4、5参照)</p>	<p>【対応】 意見を踏まえ、判断理由の一部を修正する。</p> <p>【理由】 判断理由を明確にするために、以下のとおり修正する。</p> <p>○判断理由 「「授業形態の組合せと学習指導法の工夫」については、<u>授業形態及びその比率に関して、医学科では講義65%、演習・実習35%、看護学科では講義73%、演習・実習27%とバランスよく配置されている。また、各学科において、シラバスを意識した授業構成をしているなどの相応な取組を行っていることから、期待される水準にあると判断される。</u>」</p>

学部・研究科等の教育に関する現況分析結果

学部・研究科等番号・名称：01 医学部

申立ての内容	申立てへの対応
<p>【評価項目】 I 教育水準 5. 進路・就職の状況</p> <p>【判断理由】 (6行目から)</p> <p>【原文】 「・・・看護学科では、40%弱の学生が専門技術の修得に満足して<u>いない</u>ものの、医学科においては・・・」</p> <p>【申立内容】 【修正文案】 のとおり変更願いたい。</p> <p>【修正文案】 「・・・看護学科では、40%弱の学生が専門技術の修得に満足して<u>おり</u>、医学科においては・・・」</p> <p>【理由】 看護学科卒業生のアンケート結果（別添資料5）では、「非常に満足」及び「ほぼ満足」の合計が37.7%であるため。</p>	<p>【対応】 意見を踏まえ、判断理由の一部を修正する。</p> <p>【理由】 判断理由を明確にするために、以下のとおり修正する。</p> <p>○判断理由 「・・・看護学科では、40%弱の学生が専門技術の修得に<u>ほぼ満足して</u>おり、医学科においては・・・」</p>